

受賞のお知らせ

平成二十四年三月八日、日本消防会館において、増田朝光副団長が、消防庁長官表彰（永年勤続功労章）を受賞されました。

消防団用機械器具等性能検査

四月二十一日、川崎市消防総合訓練場において、本年も有事に備えるため、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、ポンプ積載車などの総合点検を実施しました。



辞令交付式・機動部隊旗授与



四月二十一日、多摩消防署にて辞令交付式が行われました。また、機動部隊の隊旗が松澤団長から寄贈され、機動部隊隊長の井田哲芳副団長に授与されました。

防災訓練への参加

加、協力してまいりました。稲田分団中野島班では、町会と協力して、街中に設置されている器具ボックスの中の道具を使い、消火栓とつなげて実際に送水を体験する訓練を行いました。

多摩区内各地区で、町会や自治会などによる防災訓練が開催されました。多摩消防団では多摩消防署と共に、団員が積極的に参加

装備品の拡充

川崎市内の各消防団に対し、装備品の拡充が進められました。東日本大震災が発生した際の経験をふまえ、全団員を対象に無線通信機とヘッドライトが貸与されました。

また、各班には多摩消防署などの交信が可能な、MCA無線が配備されました。通信試験も頻繁に行われ、新しい装備に慣れて使いこなすために、訓練が続けられています。これにより、非常時の通信連絡体制が大幅に強化されました。

水防訓練・水難救助訓練



6月5日、宿河原の二ヶ領せせらぎ館付近の多摩川河川敷において実施された訓練に、区関係局と共に消防団員約百名が参加しました。土のう作成などの他に、機動部隊が重機を使つての訓練も行なわれました。

「みんなが消防士」事業

川崎市では小学校4年生を対象に、火の取り扱いの危険性や防火・防災の大切さを学んでもらうために「みんなが消防士」の授業を開催しています。多摩消防団では、各班が消防署員と共に地域の小学校に出向し、消防機材の説明や実演などを行い、火災に対する注意を呼びかけました。



参加した子供たちは、消防車両や機材を見て触れるなど消防を身近に体験できることを喜び、その操作方法などについて積極的に質問をしていました。火災のない安全な暮らしができるように、大人になってもこの「みんなが消防士」で学んだことを、いつまでも忘れずにいて欲しいと思います。

稲田分団 操法大会

七月二十九日、宮前区犬蔵の消防総合訓練場において、稲田分団操法大会が開催され、各班の小型ポンプ操法と小隊訓練が披露されました。

訓練は夜間が多いため、なかなか体験できない日中の明るさや周囲の視線を受ける緊張のなか、各選手が訓練の成果を見せていました。

一週間後に多摩大会を控え、各番手の審査担当者による模擬採点も行われました。終了後に渡された採点表を見て、各チームは自分達の操法演技を振り返り、さらなる操法技術の向上に励みました。

